

2024年度八王子市少年軟式野球連盟 塁審講習会資料

講習内容『基本的な塁審のジャッジと動き』

2024度のテーマ ①プレイに正対する

②”止まって”見る

③各塁でテーマを持って取り組む

項目	内容その他
コールの練習	スタンディング、ハンズ・オン・ニーズセット ・グラウンド内での姿勢の確認 ⇒正しくきびきびと動く ⇒大きな声で ⇒自信を持って行う
①スタンディングセット	スタンディングセットの型の確認
アウト（ヒズアウト）	※一塁塁審を想定
キャッチ	
セーフ（せいふ）	
ノーキャッチ	
フェア	
ファウル	
タイム	※同調
②ハンズ・オン・ニーズセット	ハンズ・オン・ニーズセットの型の確認
アウト（ヒズアウト）	※フォースプレイの三つの確認は意図だけ共有
セーフ（せいふ）	
インフィールドフライ	※同調
各塁 塁審説明&テーマ確認	
①一塁塁審	
ポジショニングとセット	投球練習時のポジショニング（立ち位置）と型 スターティングポジションとセット ※走者なし、走者あり（一塁にいる場合、いない場合） ※ハンズオンのタイミングと正対方向の確認。Balkについて。
判定区分とその動き	フェアファウルの判定区分 ※フェア、ファウルのコールのタイミング ※ラインキープ 外野飛球の判定区分と動きの確認 ※二塁塁審が中にいる場合と外にいる場合
一塁塁審のテーマ	本塁カバリーについて 走者なし 走者一塁 それ以外の走者がいる場合は二直となることを併せて説明。
フォースプレイについて	フォースプレイの確認事項 ⇒ アウトが確定する三つの確認の説明のみ。 ①ボールを所持した野手と打者走者の足とのタイミング ②野手の足が離れていない ③完全捕球されている ※それぞれ崩れた時のセーフジャッジとメカニクス
その他の一塁塁審の役割	チェックスイングの対応 インフィールドフライ、タイム、ボーク、進塁指示の同調→詳細は三塁で 一塁手後方のライン際のフライの追い方 チェンジ時の対応 ※プレート掃き、追い出し、球審フォロー
一塁トレーニング	一塁フォースプレイのピュートレーニング ※4グループで実施（ピュートレ3か所+ランナー） ※三か所で同時にピュートレ ※Stopの姿勢で待機。野手役の「行きます」の声でハンズオンセット。

項目	内容その他
<b>②二塁塁審</b>	
ポジショニングとセット ◇は外の時、◆は中の時	投球練習時のポジショニング（立ち位置）と型 ◇スターティングポジションとセット、判定区分の確認 ※走者なしの場合、走者三塁の場合（無死一死のポジショニングは？） ※走者三塁は外にいてもハンスオン二塁セット ◇内野内への入り方（ライン際の外野飛球、内野ゴロ） ◆スターティングポジションとセット、外野飛球はジャッジしないことの確認 ◆二塁盗塁時のステップとタイミング ※盗塁時のTag playの足の入り方、Tagの捕球確認について。 ◆二塁牽制時のステップとタイミング ◆ダブルプレイにおけるStep up turn.Face the ball. ※Step up turnは外野飛球でも使えることを確認。
二塁塁審のテーマ	◆走者が一塁にいるとき（無死一死）の時の一塁への帰塁プレイ ※一塁塁審がGo outしたとき⇒センターよりも右側の外野飛球 ※一塁ランナーの一塁への帰塁プレイに備える動き。
その他の二塁塁審の役割	◆インフィールドフライ、タイム、ボーク、進塁指示の同調→詳細は三塁で ◆チェンジ時の対応 ※プレート掃き・ボール
<b>③三塁塁審</b>	
ポジショニングとセット	投球練習時のポジショニング（立ち位置）と型 スターティングポジションとセット ※走者なしの場合、走者在りの場合、走者三塁の場合 ※ハンスオンのタイミングと正対方向の確認。
判定区分とその動き	フェアファールの判定区分 ※フェア、ファウルのコールのタイミング ※ラインキープ 外野飛球の判定区分と動きの確認 ※二塁塁審が中にいる場合と外にいる場合 ※外野飛球時のボール、ベース、自分の作り方
三塁塁審のテーマ	走者無し、二死三塁の場合で二塁塁審がGoOutしたときの二塁ベースカバー ※センターラインの2塁ベースから3m程度まで一気に入る。
各塁共通の行動と同調	インフィールドフライ（サインと発声） ボーク発生時の流れ ボーク、ボールデッド時の進塁指示 タイム 挟殺プレイ（ポジショニングと責任範囲、一歩踏む込む） タッグ時の判定（ボールの捕球確認） 複数走者による同一塁の占有権とそのジャッジ
その他の三塁塁審の役割	盗塁・牽制時の動き タッグアップ時の対応 チェックスイングの対応 チェンジ時の対応 ※プレート掃き、追い出し、球審フォロー
投手に関わる投球の説明	
投手の投球時の動作について ボークの注意点	ワインドアップポジションとセットポジション それぞれできる三つのこと 牽制 ボークについて
メカニクスの確認	
講師の実践による各塁審の動き	4人制 無死 ランナー無し センターフライ →（三塁） 無死 ランナー無し 左中間へのヒット → 二塁でプレイ（一塁三塁） 1死 ランナー一塁 左中間のヒット → 三塁でプレイ（一塁） 1死 ランナー一塁 ライトライナー → 一塁で帰塁プレイ（二塁） 1死 ランナー三塁 センターフライ → タグアップ、アピール 1死 ランナー二塁 レフト線ヒット → カウンタークロック